

大阪市立大学医学部附属病院 & 愛仁会高槻病院

合同 BLSO プロバイダーコース

全国消防本部に対するアンケート調査で、2010年の1年間には734件の病院前分娩事例が存在した。また、妊婦にとって産科的疾患を除けば死亡原因の第1位は外傷であるが、わが国においては妊婦の交通事故についての包括的な調査結果がなく、交通事故による妊婦・胎児の正確な年間負傷者数は不明である。2011産婦人科診療ガイドラインによると年間約1万人の妊婦が交通事故に遭遇し、20人前後の妊婦が死亡しているものと推定されている日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対する Advance Life Support in Obstetrics (ALSO)プロバイダーコース*1 に対し、ここ数年、主に病院前産科救急を想定して、ALSOの前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、世界中で実験的におこなわれるようになった。「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダー全てが標準化されたコースを学び、救急救命士から救急部スタッフ、産科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立ち、周産期のより切迫した内容へ対応するために基本的なトレーニングコースとして作成されたのが Basic Life Support in Obstetrics(BLSO)プロバイダーコースである。日本におけるコース内容は、妊婦の評価・分娩介助・新生児蘇生・救急車内分娩・産後大出血であり、BLSOコースを受講し、試験に合格した場合、参加者は AAFP と ALSO-Japan が認定する5年間有効な認証を受ける事ができる。

日時 2013年10月26日(土曜日)

場所 大阪市立大学スキルスシミュレーションセンター 8階

受講者 医師、看護師、救急救命士

参加費 15,000円 (予定)

今回、参加募集につきましては、定員に達しましたので終了いたします。

※ 1:ALSO プロバイダーコース:

ALSO は、1991年にアメリカの一般診療医師が考案したマネキンを用いたシミュレーション教育であり、1993年にコース権利は American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医療学会)によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受

講を義務づけられている。また、ALS0 コースは世界的に普及活動が行われており、2012 年現在 59 カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10 万人以上が受講を完了している。日本においては2008年に金沢大学周生期医療専門医養成支援プログラムグループが、米国家庭医療学会から ALS0 セミナー運営権を獲得し、全国展開を行っている。2008 年 11 月から 2012 年 5 月までに 1147 名の受講者があり、産婦人科医師のみならず救急医やプライマリケア医、助産師・看護師、そして 救急救命士等が受講してきた。

主催：大阪市立大学医学部附属病院 スキルスシミュレーションセンター

共催： 愛仁会高槻病院

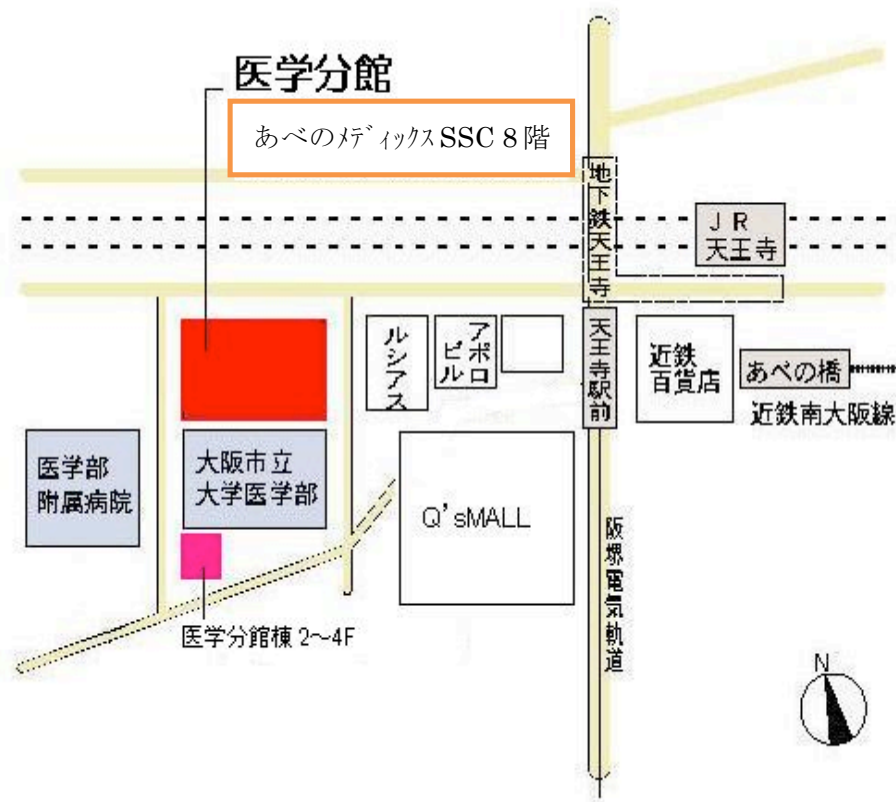
共催：NPO 法人周生期医療支援機構(OPPIC)

開催場所：〒545-0051. 大阪府大阪市阿倍野区旭町 1 - 2 - 7

大阪市立大学スキルスシミュレーションセンター 8階

申し込み先： 担当 岡田 明子 akiko319@med.osaka-cu.ac.jp

日時 2013年10月26日（土曜日） 午前 8 時～午後 5 時予定



大阪市立大学医学部附属病院 & 愛仁会高槻病院 合同BLSOプロバイダーコース タイムスケジュール

平

	1	2	3	4
8:30	受付			
9:00	妊婦の評価 (A) (B)		分娩介助 (C) (D)	
10:00	休憩			
10:10	分娩介助 (B) (A)		妊婦の評価 (D) (C)	
11:10	休憩			
11:20	新生児蘇生 (C) (D) (A) (B)			
12:20	昼食 ミーティング		昼食	
13:20	産後大出血・妊婦蘇生 (D) (A) (B) (C)			
14:20	休憩			
14:30	救急車内分娩			
15:00	シナリオ・手技練習			
15:30	筆記試験 実技試験 Mega code			
17:00				